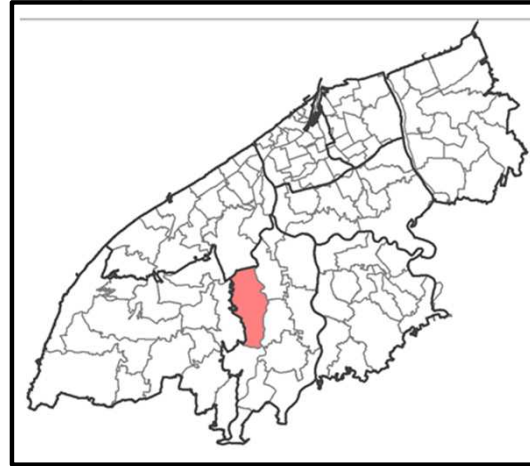


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address Name, etc. Rows include 味方, 居宿, 大倉, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, etc.

●人口

Table with population statistics: 総人口, 0~4歳, 5~14歳, etc. Includes a pie chart showing age distribution.

●建物関連指標

Table with building-related indicators: 総棟数, S55年以前建築, S56年以降建築, etc. Includes a pie chart showing building age distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings within the district, including building name, height, and disaster response status.

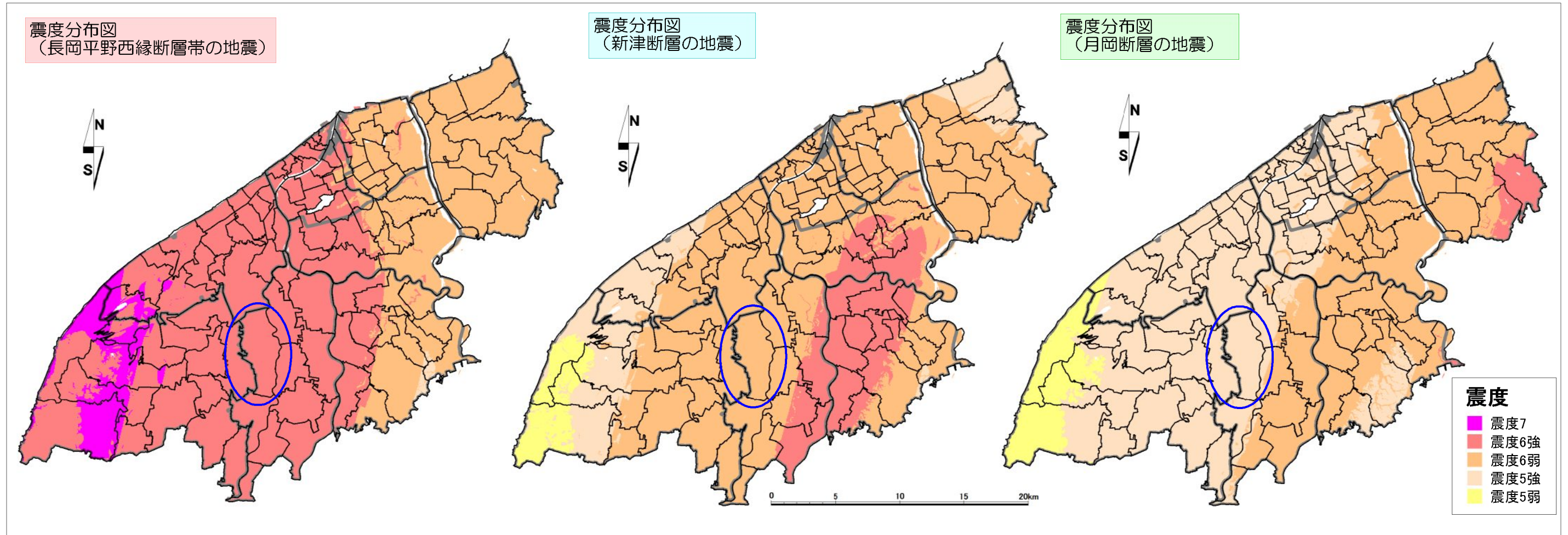
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites and tsunami evacuation buildings outside the district, including building name, height, and disaster response status.

避難の可否:「-」はそれぞれの災害で避難の対象外、津波で「×」の施設は、津波避難の対象外かつ津波浸水の危険性がある。

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 津波 (Tsunami) and 地震・水害 (Earthquake/Flood). Describes potential impacts on the district.



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

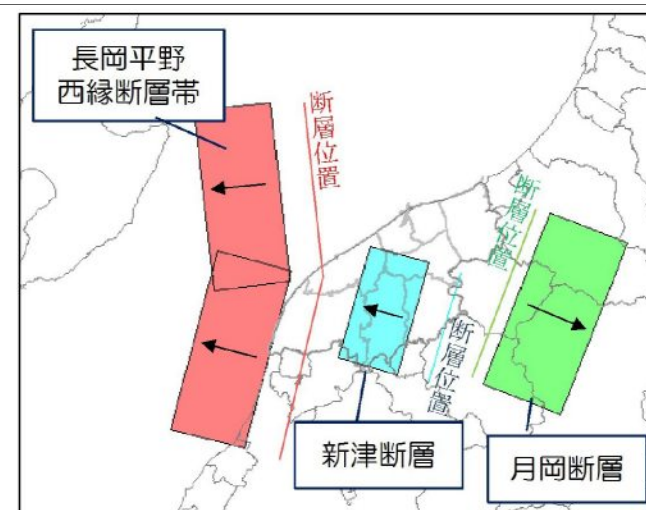
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

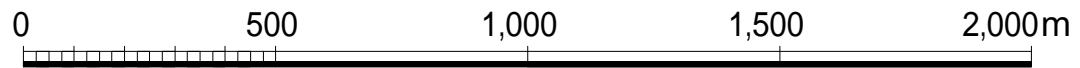
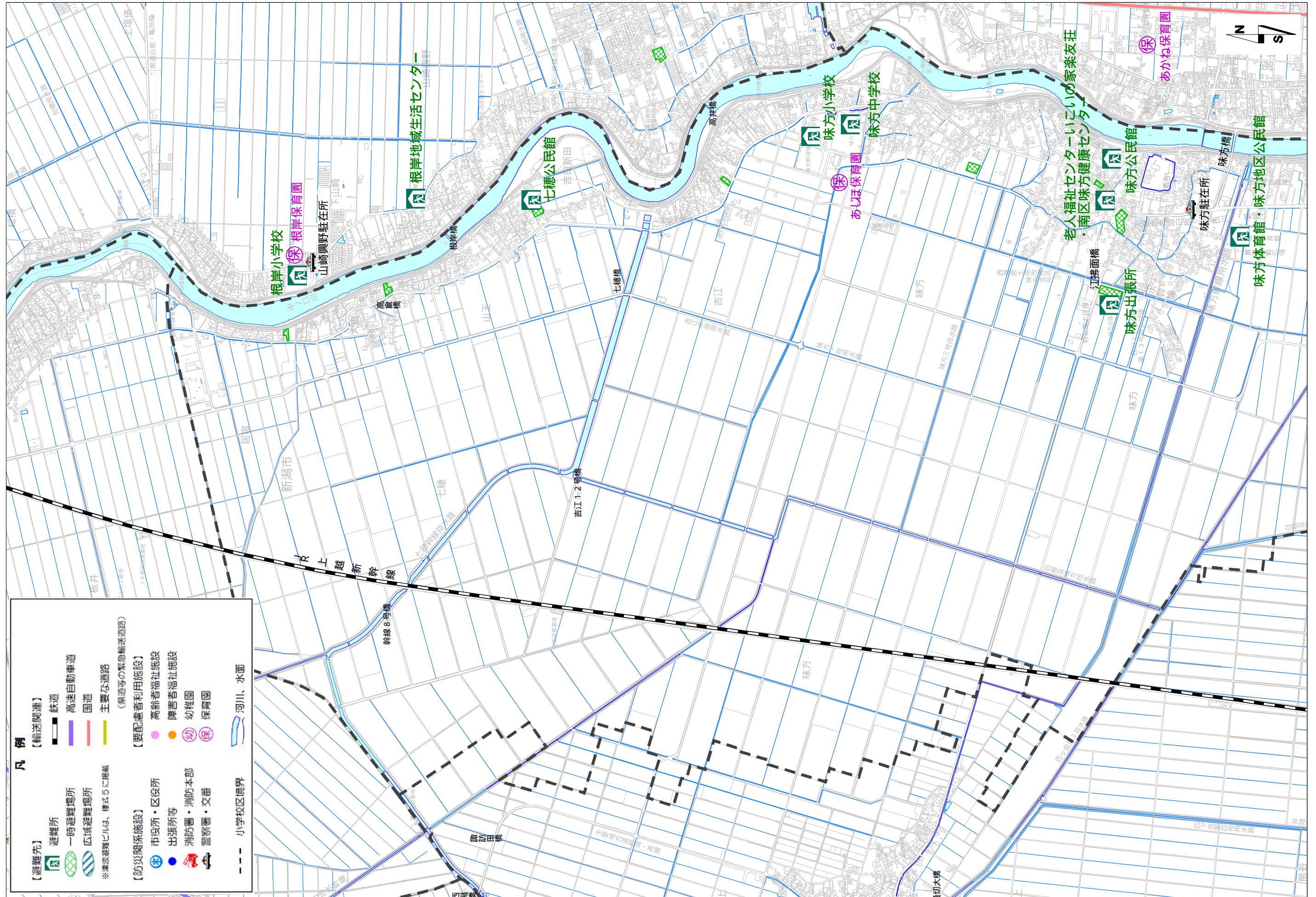
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

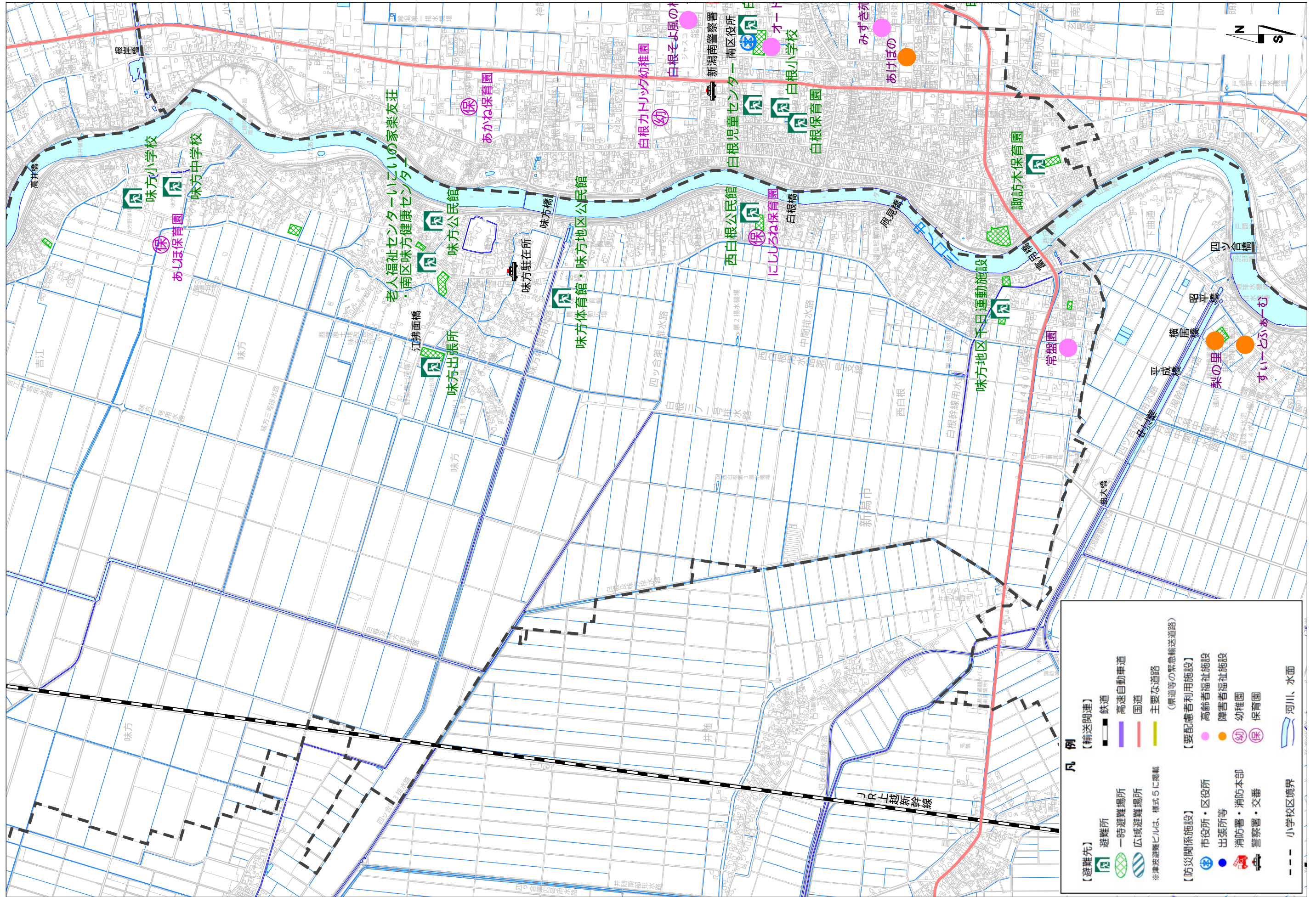
<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

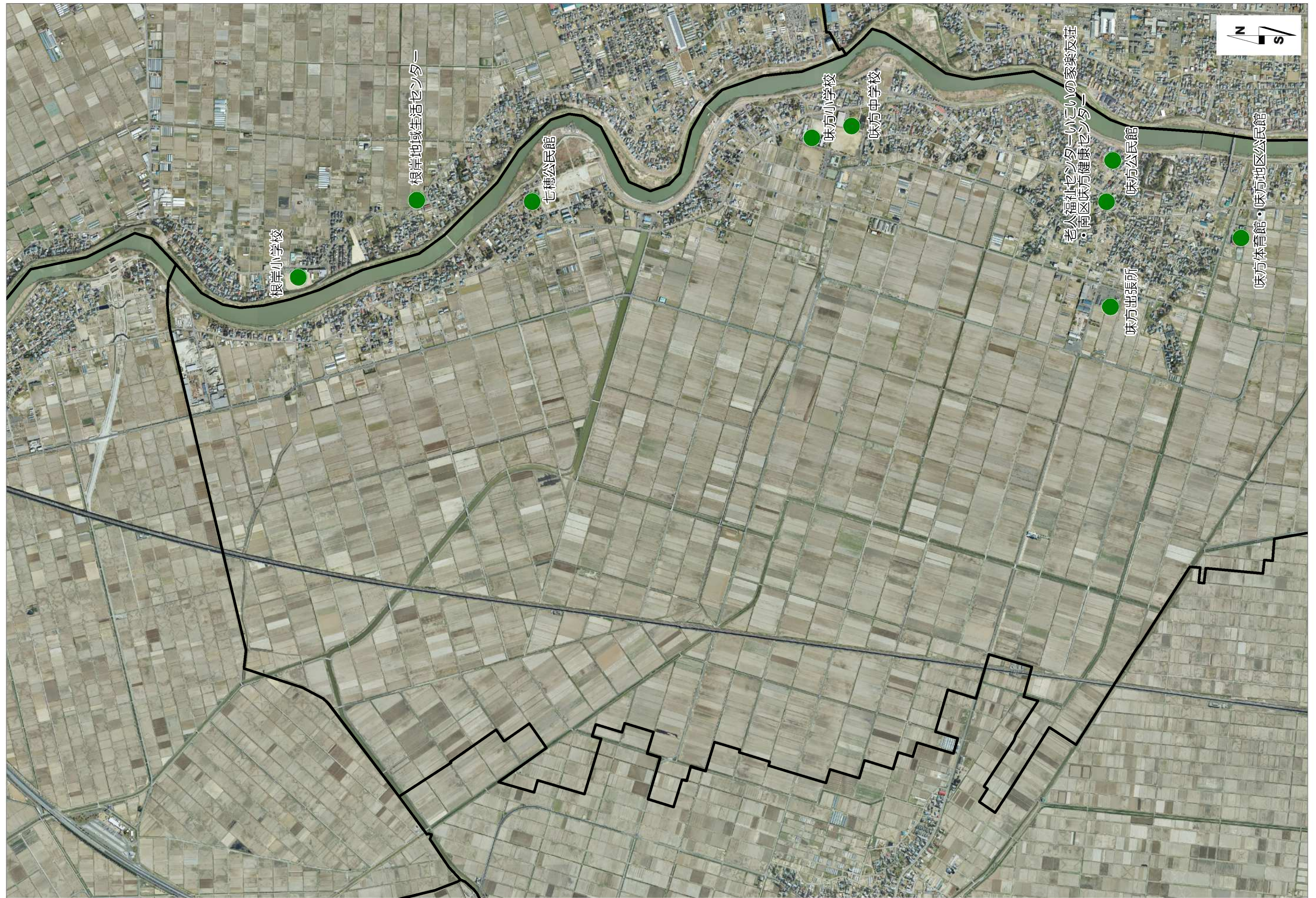
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

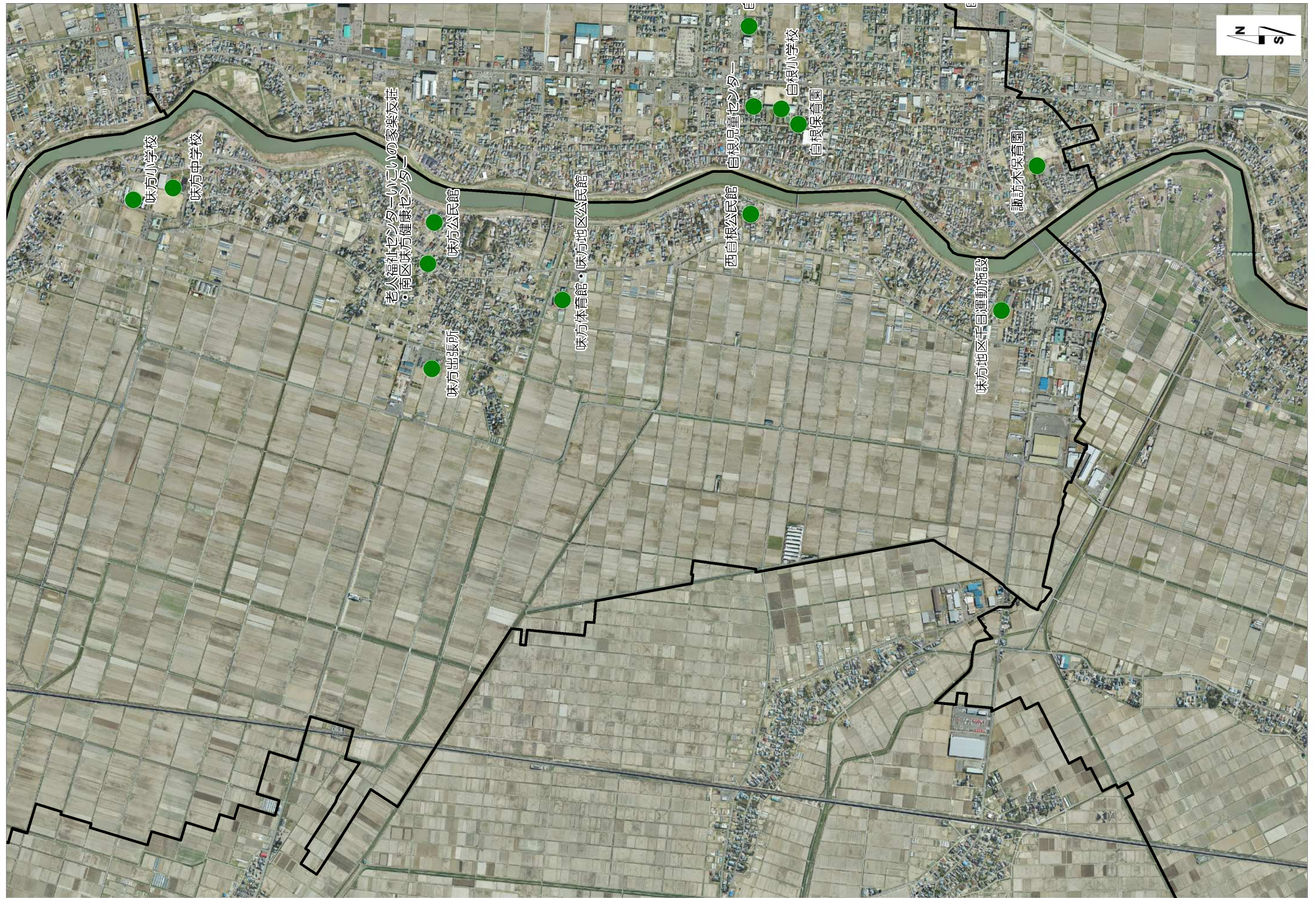


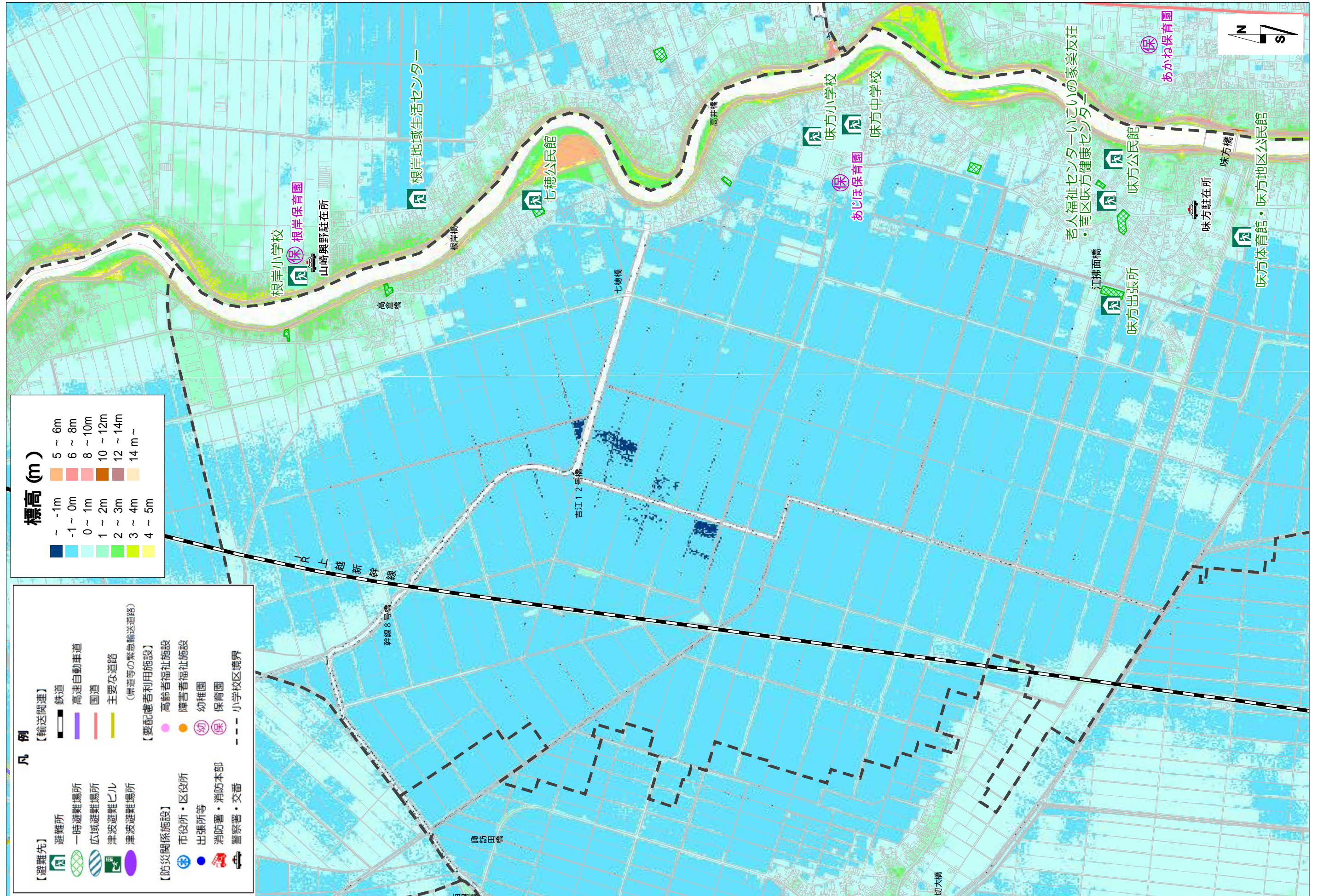
← は、断層の傾きを示しています。



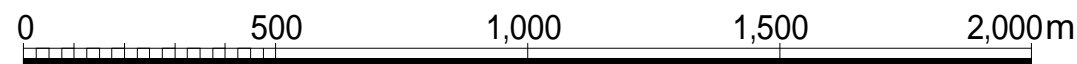


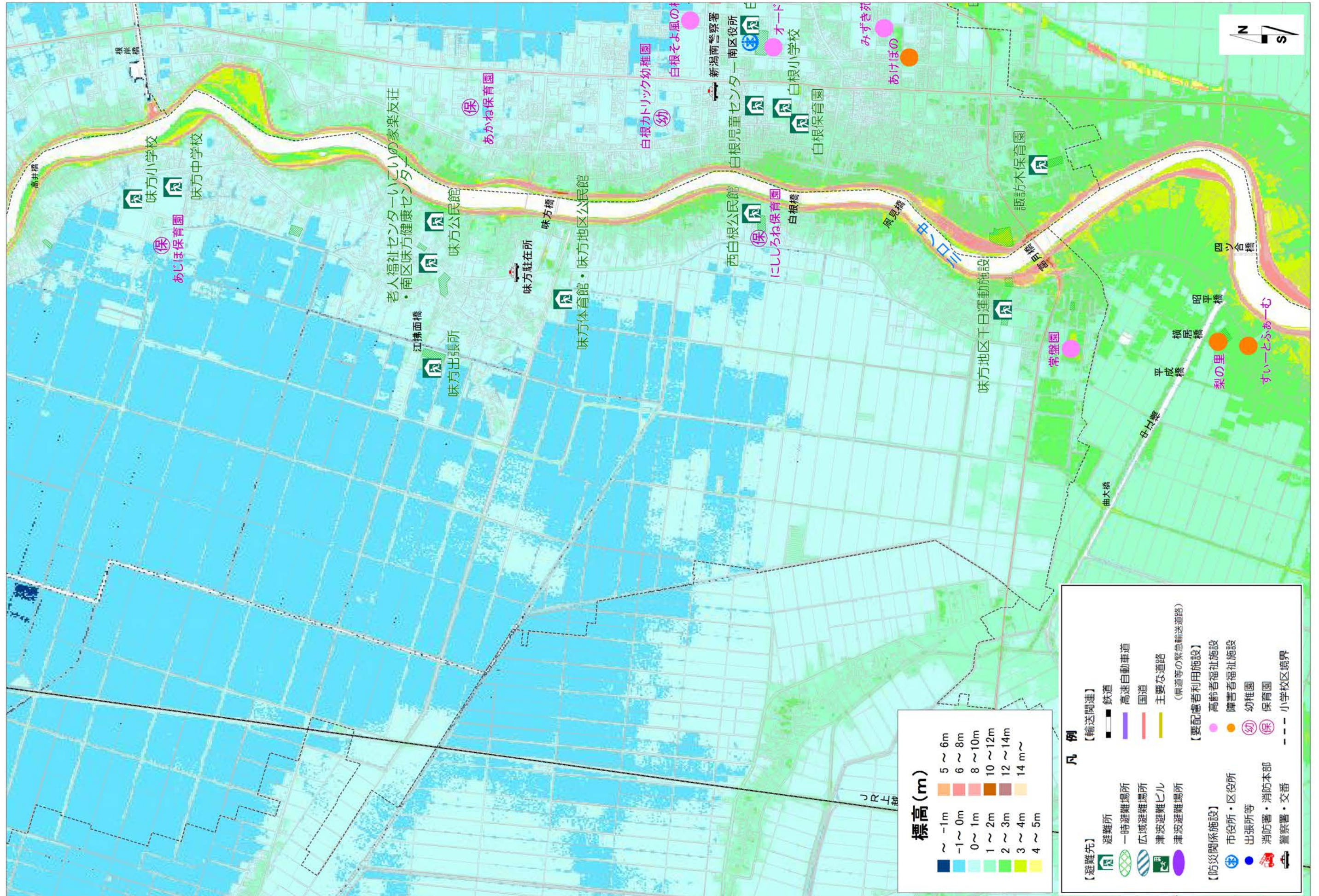




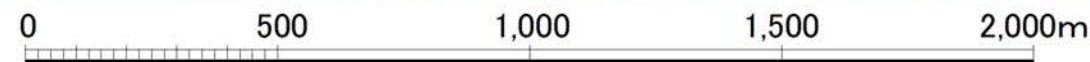


【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





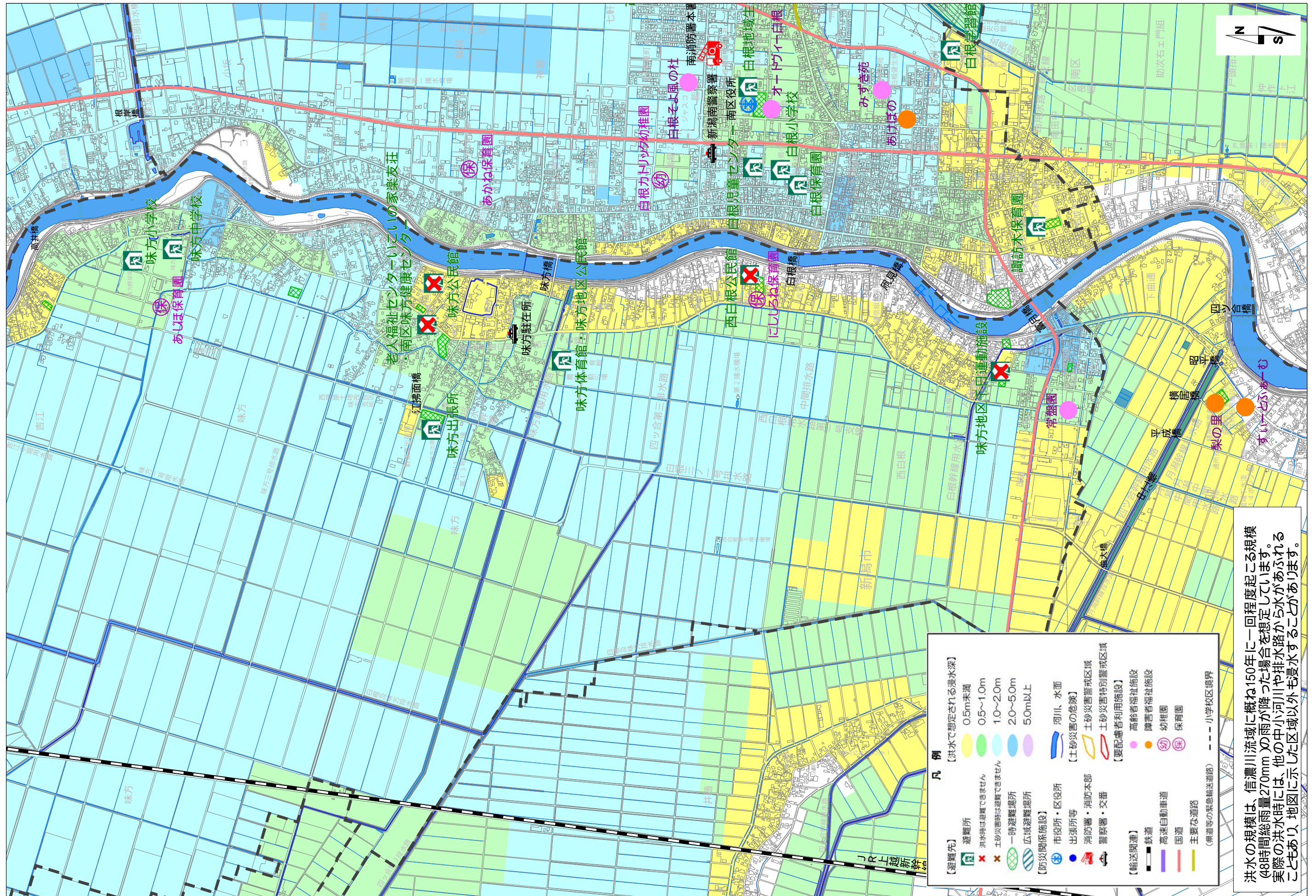
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM(国土地理院, 平成25年)





【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
 中ノ口川浸水想定区域（新潟県，平成16年6月15日）

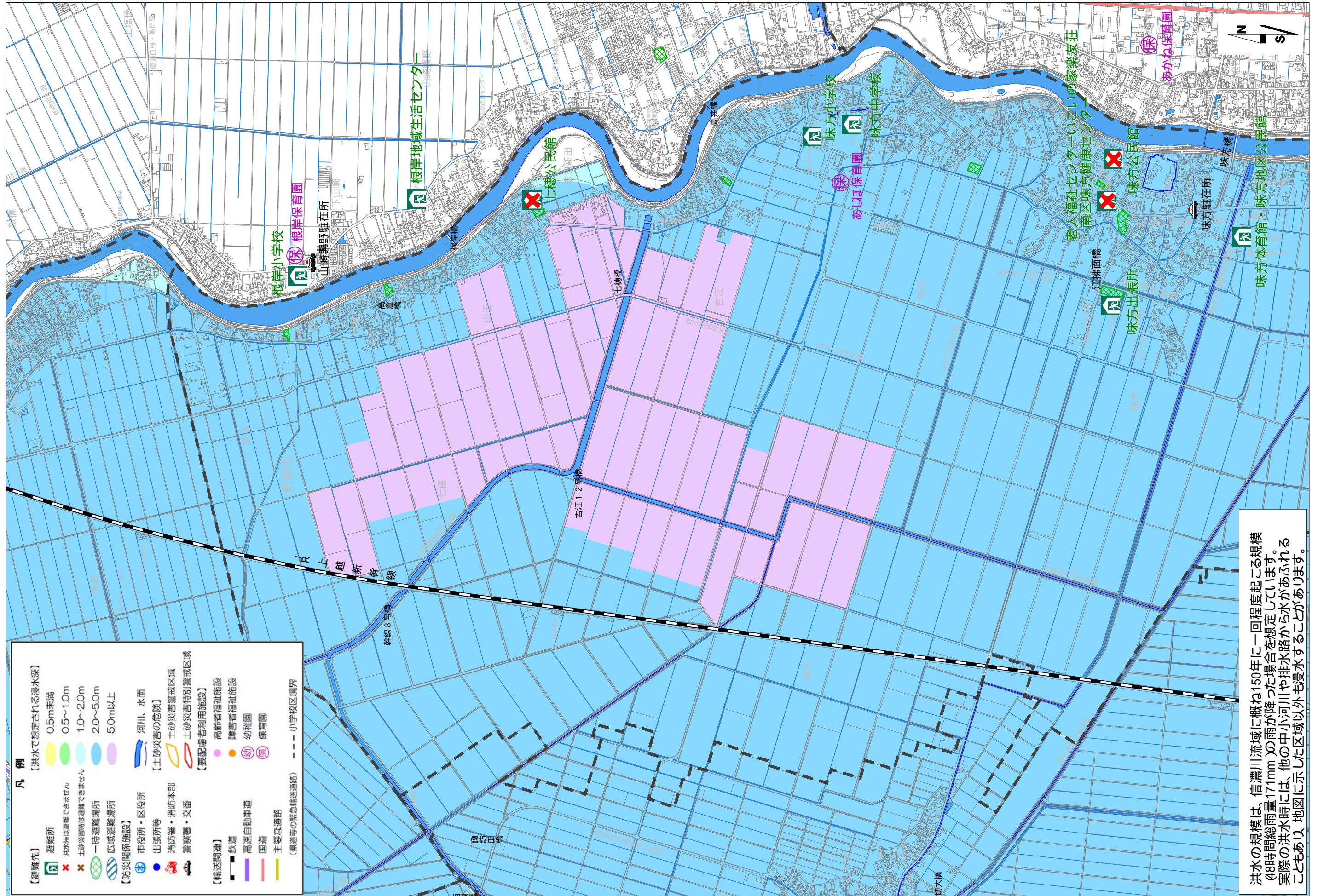
洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量270mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
中ノ口川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月15日)

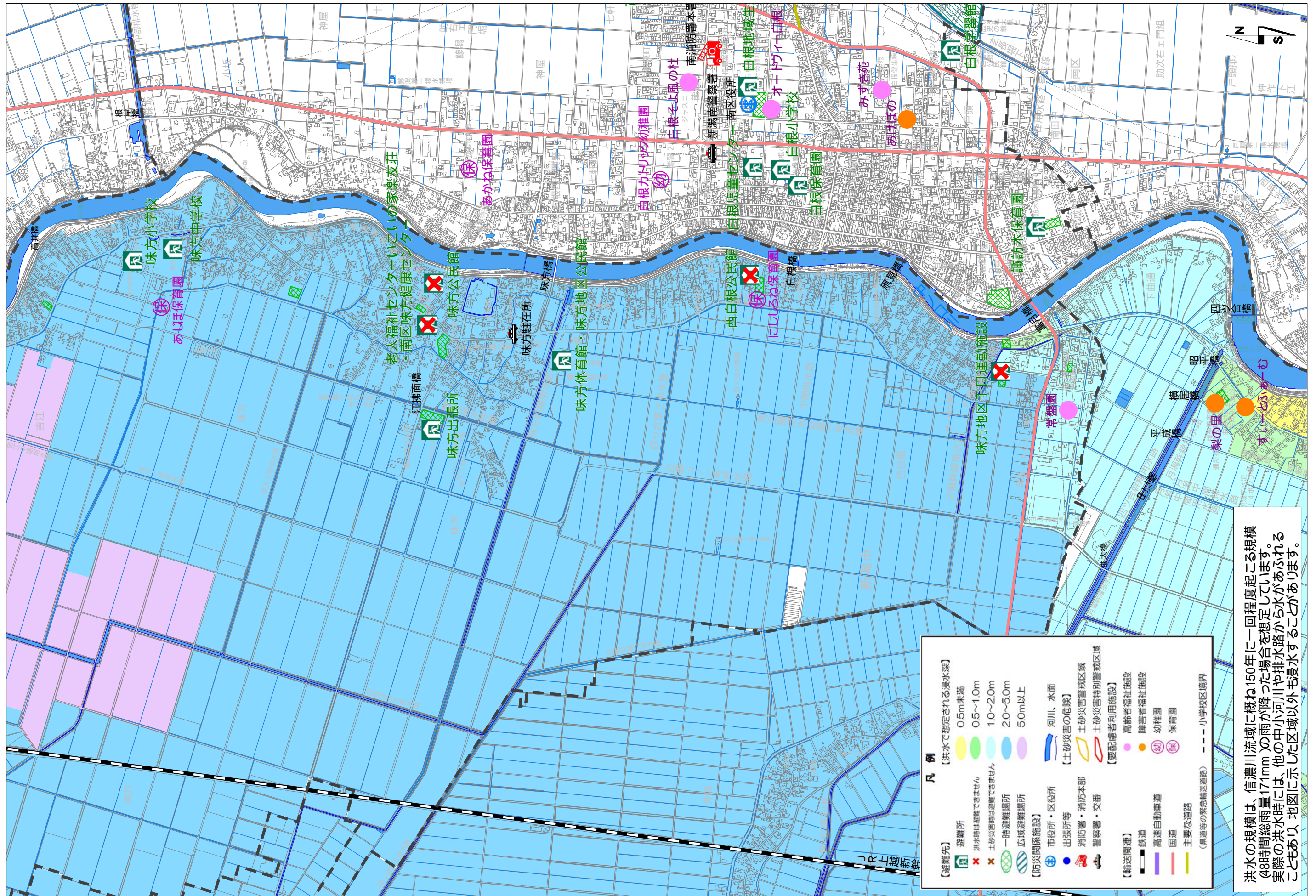
洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(8時間総雨量270mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

- 凡例**
- 【避難先】**
 - 避難所 (緑の建物アイコン)
 - 洪水時は避難できません (赤のX)
 - 土砂災害時は避難できません (赤のX)
 - 一時避難場所 (緑の建物アイコン)
 - 広域避難場所 (緑の建物アイコン)
 - 【防災関係施設】**
 - 市役所・区役所 (青の建物アイコン)
 - 出張所等 (青の建物アイコン)
 - 消防署・消防本部 (赤の建物アイコン)
 - 警察署・交番 (赤の建物アイコン)
 - 【輸送関連】**
 - 鉄道 (黒の線)
 - 高速自動車道 (紫の線)
 - 国道 (赤の線)
 - 主要な道路 (黄緑の線)
 - (県道等の緊急輸送道路)
 - 【洪水で想定される浸水深】**
 - 0.5m未満 (薄青)
 - 0.5~1.0m (青)
 - 1.0~2.0m (緑)
 - 2.0~5.0m (黄緑)
 - 5.0m以上 (黄)
 - 【土砂災害の危険】**
 - 河川、水面 (青)
 - 土砂災害警戒区域 (赤)
 - 土砂災害特別警戒区域 (赤)
 - 【要配慮者利用施設】**
 - 高齢者福祉施設 (赤)
 - 障害者福祉施設 (赤)
 - 幼稚園 (赤)
 - 保育園 (赤)
 - その他**
 - 小学校区境界 (黒点線)



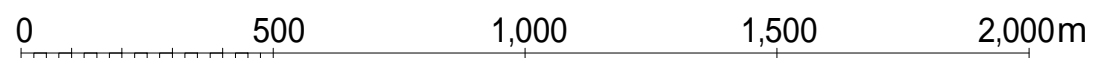
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
大河津分水路浸水想定区域 (国土交通省,平成14年4月30日)

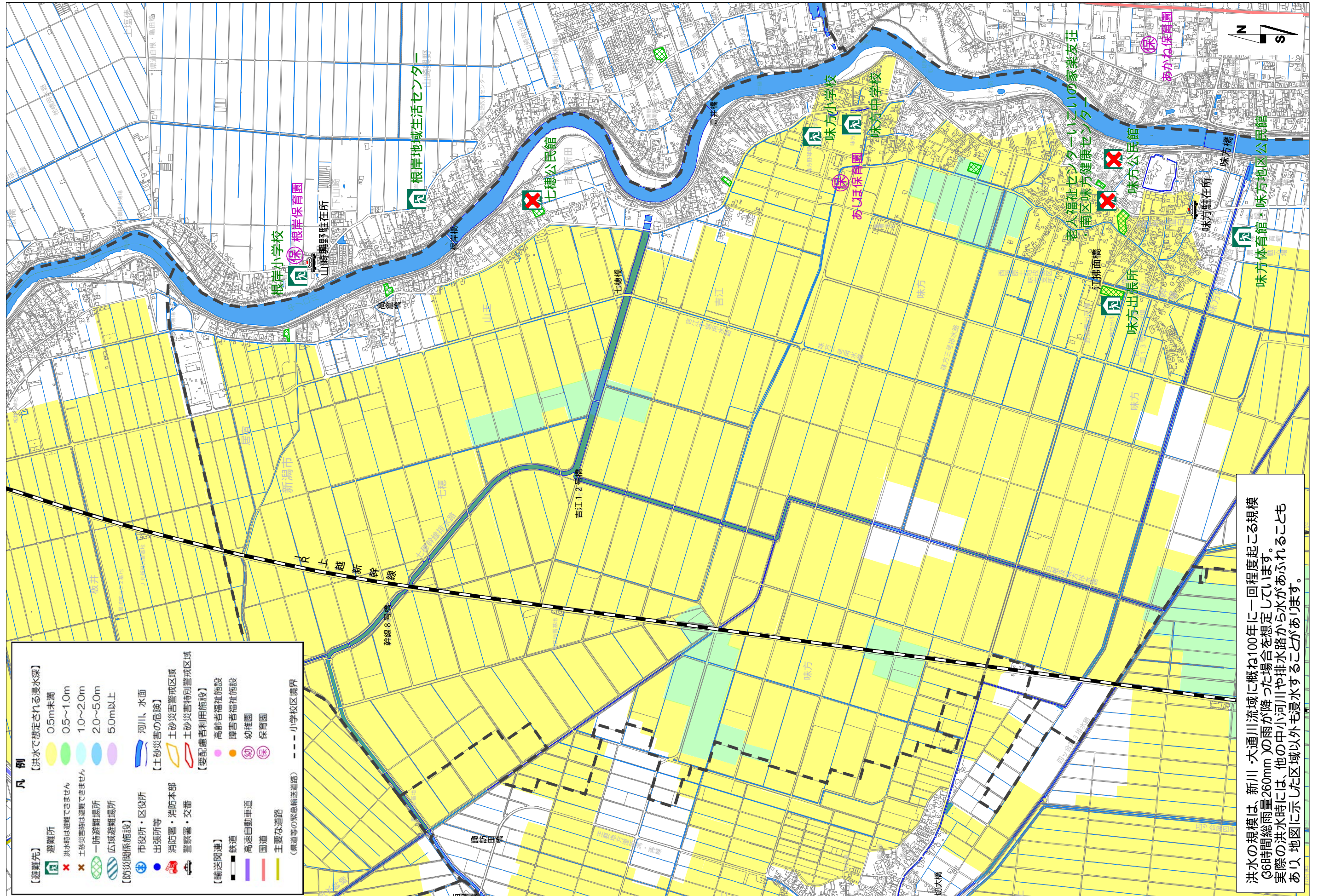
0 500 1,000 1,500 2,000m



洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(8時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

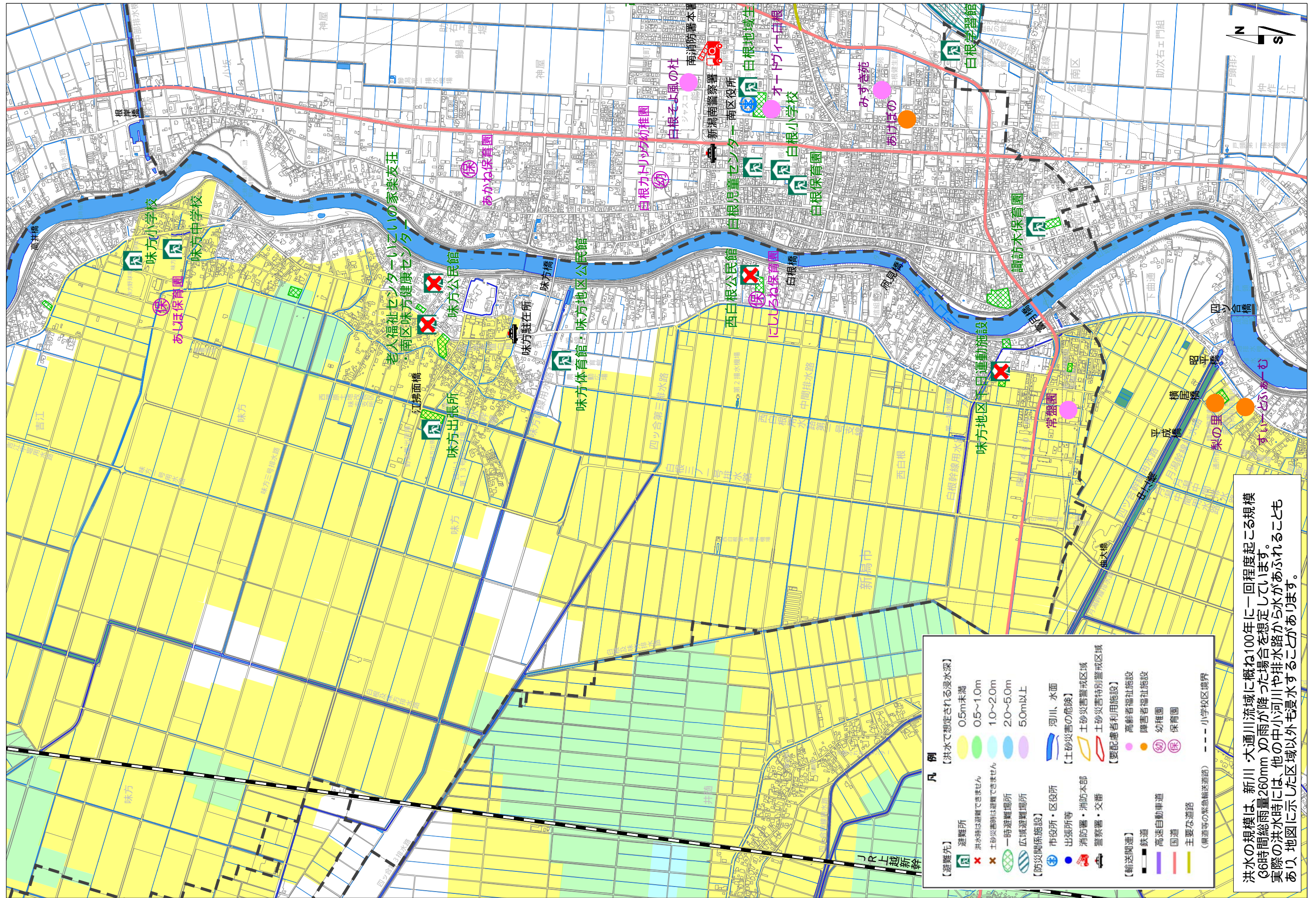
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)





【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域（新潟県、平成20年2月26日）

洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 6時間総雨量260mmの雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。



洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模(6時間総雨量260mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年、平成25年、平成26年) 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域(新潟県、平成20年2月26日)

